

腹腔鏡下胃切除術・胃全摘術に おける郭清・再建手技の習得 ～定型手術から拡大手術まで～

解剖実習セミナーを開催します。

参加希望者は下記申込先(メール)までご連絡ください。

日時 令和6年1月6日(土) **9時～16時**

場所 岡山大学鹿田キャンパス 解剖実習室

担当講師：黒田 新士

(岡山大学病院 低侵襲治療センター)

対象：

腹腔鏡下胃切除術・胃全摘術の手技向上を目指している上級医・修練医

参加費：5万円 募集人数：**9名 (3人/テーブル)** 見学：5千円

実習内容

09:00 ～ 09:30 オリエンテーション

09:30 ～ 13:00 腹腔鏡下幽門側胃切除・胃全摘術 (定型手術)

14:00 ～ 16:00 大動脈周囲・下縦隔郭清、臍体尾脾合併切除、等
(拡大手術)

通常のホルマリン固定ではなく、シール(Thiel)法によって固定されたご献体での実習となります。シール法では、組織が柔らかく固定されているため、実際の手術とほとんど違和感のない感触で手術の執刀を実習することができます。

参加者には発熱などトリアージにかかる場合には参加できない可能性がありますのでご注意ください。

申込先 岡山大学病院 消化器外科学 TEL：086-235-7257

mail：shinkuro@okayama-u.ac.jp (担当：黒田) 申込締切：令和5年12月29日(金)

協賛

特定非営利法人オアシス(OASISS:岡山大学関連外科研修情報支援機構)